

北陸銀行・金沢大学 トレーニー派遣

《平成23年度》

北陸銀行との包括的連携協定に基づき、富山大学と合同で中国(大連)へ3月11日(土)から3月14日(日)の3泊4日の日程で、海外キャリア研修として各大学から学生10名と教職員3名を派遣しました。この研修では、現地に進出している北陸の企業の訪問、そして協定校の大連理工大学の学生との交流を行います。

大連理工大学 HP

大連理工大学 HP で、3/19・3/20 に掲載されました。

●大連理工大学弁公室トップページ

<http://office.dlut.edu.cn/>

<http://office.dlut.edu.cn/Details.aspx?NewsID=883&NodeID=17> 3月20日付け

●大連理工大学ニュースネット

<http://news.dlut.edu.cn/>

<http://news.dlut.edu.cn/article/2012/0319/40049.shtml> 3月19日付け

お礼

●今回の研修に際し、ご協力を賜りました関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

ご協力いただきました皆様(順不同)

- ・北陸銀行
- ・YKKファスナー現地法人
- ・大連ソフトウェアパーク
- ・コマツNTC現地法人
- ・大連理工大学

本学として、今回のトレーニー派遣は3回目でした。1回目は上海。2回目は大連。そして今回は富山大学と合同での大連。学生にとっては、中国(大連)での企業見学及び大連理工大学生との交流により習得したものだけでなく、富山大学生からの刺激も

多々あり、情報交換を行い、協調し、時には競いあい、そして自分を知る(気づく)ことが多かったようです。

富山国際空港から大学に戻る車中、学生及び引率した教職員、そして北陸銀行の本学OBの方から簡単に感想をお願いしたところ、疲れているはずなのに、次々に述べられる感想からは、一緒に同行していない私が理解できるように微妙なニュアンスも加えてあり、自分の得たこと、気づいたことも熱く語っていただき、話を聴いている私も一緒に体験できたかのような時間を共有することができました。参加学生は、当初の目的の「何か一つでも習得を・・・」という言葉を受けて出発しましたが、帰路では幾つもの収穫を得て、そして自分に気づき、更に「今後は〇〇〇をしていきたい！」と力強い言葉を聴くことができました。

就職支援ということで、日々学生と接し、喜びも、無念も感じ取れる場ではありますが、今回は意気揚々とした学生と接することができ、私も少しテンションがUPし、熱くなりました。

今回の海外研修においては、当初9月に実施予定でしたが台風で3回も延期となり、前回受入れをご承諾いただきました皆様を初め、様々な方々のご協力のお蔭で多大な成果をあげることができ、心より感謝申し上げます。
本当にありがとうございました。



大連で勤務している両大OBによるセミナー



YKKファスナー現地法人にて
大連市開発区紹介～大連吉田拉链有限公司
製造紹介



YKKファスナー現地法人にて
施設見学



YKKファスナー現地法人にて
関係者の皆様と記念写真



大連ソフトウェアパークにて
模型による説明



コマツNTC現地法人にて
亿达日平机床有限公司紹介



コマツNTC現地法人にて
施設見学



コマツNTC現地法人にて
関係者の皆様と記念写真



大連理工大学との交流会
両大学から挨拶 & 説明



大連理工大学との交流会
グループ別ディスカッション



大連理工大学にて
関係者の皆様との記念写真



富山大学&金沢大学 合同同窓会



富山国際空港 無事到着！



気持ちがコモッタお土産♪

From 就職支援室スタッフ

渡航記その5(3/14)

● 第4日目 最終日

3月14日(水)

大連4日目、トレーニー研修もいよいよ最終日です！

今日の主な内容は大連市内の観光でした。

まず、最初に訪れたところは大連賓館の大和ホテル。満州鉄道の敷設に伴って建てられた大和ホテルは西洋風のクラシカルな造りの建物で、田中角栄が日中親善条約を結んだ迎賓館や清朝最後の皇帝・溥儀が泊まった部屋などがある歴史的な場所です。100年以上も前に建てられた大和ホテルを見学して、日本と大連が、歴史的に関係が深かったことを再認識しました。

次に行ったところは大連港です。旧満州鉄道の大連埠頭事務所の屋上から、大きな大連港と高層ビルが立ち並ぶ大連の街を一望。大連の経済発展の高さを実感しつつ、その経済発展がこの大連港があってこそそのもののように感じました。

そして、12時55分発の便で日本へ帰国。

あっという間の大連研修でした。

たった4日間の研修でしたが、その内容はとても濃く、多くの事を学ぶことができました。中国・大連のこと、日系企業やそこで働く人たちについて知る一方で、日本や自分自身についてもこの研修を通して見つめ直すことが出来たと思います。中国の人と交流することで陰悪気味である日中関係に関して考え直すこともありましたし、今回一緒に行動していた学生を見て、自分の欠点や伸ばしていかなければいけない点が見えてきました。企業視察の中で鋭い質問をどんどんしたり、大連研修の感想を積極的、そして論理的に話したりする学生がいる一方で、しっかりとした質問や意見を言い出せない自分がいました。このような、与えられたことに対して自ら対応・発信する能力が弱いことをとても実感しました。

今回の研修で気付いた自分の欠点を改善し、研修で得た経験を今後の行動に活かしつつ、大連での体験や学んだ事を周りの人たちに伝えていきたいと思います。



大連埠頭事務所の屋上にて



富山空港到着後，両大学の代表者による挨拶



最後は別れが惜しく「ハグ」にて終了

From 参加学生(鍋田あゆみ)

●第3日目 研修-2

3月13日(火)

午前は大連理工大学の方々と交流しました。この日のために覚えた中国語での自己紹介を、一生懸命理解しようとしてくれる中国の学生の姿勢、そして拙くも自分の中国語が伝わったことに感動しました。最も印象的だったのは、中国の学生に日中韓の関係についての話をしたところ、「人と人の交流を通せば国と国との問題は関係ない。メディアや教育によるイメージも関係なくなる。」と言っていたことでした。これらはよく言われることかもしれませんが、中国の学生の口から直接聞くことができたことで、その通りであると心から共感し、帰国後は更なる異文化交流に何か貢献したいと思いました。

その後、大連中心部からバスで1時間程の位置にある、旅順市を視察してきました。旅順は日露戦争における攻防戦の地としても有名な地です。そこでは、戦争の跡が今でも痛々しく残っており、戦争の壮絶さを物語っていました。日本が中国という異国を舞台にして行ってしまった戦争の重大さと、その責任を感じる経験となりました。

旅順視察後には、再び大連中心部へと戻り、夕食会である金沢大学・富山大学合同同総会に参加させて頂きました。そこでは、これから金沢大学・富山大学で勉強をする予定のある中国人学生や、かつてそこで勉強されており、現在は大連で活躍されている先輩方と夕食を共にし、普段では聞けない貴重なお話を聞くことができ、私たちに大きな刺激を与えてくれました。

このように、研修3日目が早くも終了しました。初日に比べて、多くの学生の目の色に変化が見られ、グローバルな舞台で働くことに対するイメージが少しずつ持ててきた気がします。明日はいよいよ最終日。悔いの残らない研修にするため、最後まで気を抜かず、出来るだけ多くのことを学び取れるように頑張ります！



大連理工大学 毛沢東像



大連理工大学生との交流会
グループ別によるディスカッション

From 参加学生(袖原一輝)

渡航記その 3(3/12)

● 第 2 日 目 研修-1

3 月 12 日(月)

大連2日目、今日は本当に充実した1日でした。

午前中は、北陸銀行主催のセミナーで北陸銀行大連駐在員事務所長大間知様、富山県大連事務所長油本様(金沢大学OB)、劉同強弁護士(富山大学院OB)の講演をお聞きしました。日本と中国の違い、富山の観光PRについてなど、銀行という業務を越えた内容についてもお話していただき、銀行に対するイメージが変わりました。また、最後に劉同強様が、東アジアの関係について、「兄弟でも喧嘩もする」とおっしゃり、兄弟のような関係だと言われたのがとても印象的でした。

YKKファスナー現地法人の見学をしました。そこでは大連YKKの総経理の佐々木様のお話のあと、YKKの工場、社員寮も見学させていただき、日本の企業で働く中国人の方々に対する福利厚生に驚きました。海外でバリバリ活躍されている日本人としての佐々木様の姿に、感銘を受けました。

午後は大連ソフトウェアパークを視察した後、コマツNTC現地法人(YNC)副総経理水口様のご説明とご案内により、工場見学をしました。水口さまと、中国人幹部の方や、通訳の方がうまく協力してやられている様子が伝わってきて、文化の違いを越えて協力姿に感銘を受けました。

夕食は餃子の食べ放題、その後京劇を見ました。

セミナーや見学のあとにはそれぞれ質問タイムを設けていただき、金沢大学の学生も、富山大学の学生も積極的に質問をすることができ、とても有意義な時間となりました。大連に進出した日系企業の様子について、たっぷりと学んだあとは、おいしい料理と京劇を楽しむことができ、とても充実した1日でした。

富山大学の学生達とも打ち解けてきました。

このすばらしい機会をくださった北陸銀行さんに、とても感謝しています。

明日も頑張ります！



本学参加学生(10名)記念写真



コマツNTC 現地法人見学



京劇鑑賞

From 参加学生(奥野真弥)

渡航記その 2(3/11)

● 第 1 日目 大連に到着

3 月 11 日(日)

半年越しで、大連、やっと来ることができました！

大連に着いたのは現地時刻で 19 時頃、大連の夜はネオンが派手で、きらびやかです。

道路の真ん中には水晶によるネオンがありました。大連は水晶の街だそうです。

夕食は富山大学の方々、北陸銀行の方々と四川料理をいただきました。

おいしかったです。ひりひりするほど辛いのですがやめられない味です。

たくさんの良い出会いに恵まれて、とてもよい研修になりそうです。

楽しく、中身のある旅にしたいと思います。



車窓から



参加者との懇談会



懇談会(四川料理)

From 参加学生(奥野真弥)

渡航記その1(3/11)

●富山国際空港にて

出発に先駆け、富山国際空港において壮行会が開催されました。北陸銀行から、「成長著しいアジア(大連)で、何かを習得して欲しい。その習得した中から一つでも良いので、帰国後展開して欲しい」等熱いエールをいただき、各々の大学から学生10名と教職員3名が3泊4日の日程で中国(大連)に旅立ちました。本学の学生にとっては、4度目の出発(台風で3度中止になり、今回に延期)半年分の思いを持ち、いざ出発!

【見送っている北陸銀行そして大学職員、誰もが旅立てることを願っていました。】





壮行会における北陸銀行さまからの熱いメッセージ



出国の書類作成中のリラックス風景



今から旅立つ学生

From 就職支援室スタッフ